

うた ひつじの詩だより

2008. 1. 1
毎月発行 No.82
この便りはご注文の品と
いっしょにお届けします

2008年、あけましておめでとうございます。
今年が皆様にとりまして、健やかな幸多い年でありますよう、お祈り申し上げます。
昨年、書店で見つけた簡素な装丁の本のタイトルは「求めない」(加島祥造著、小学館)でした。
欲張りを自覚している私は、反対の意味の美しいことば「求めない」にすぐに反応して、
その本を求めました。

求めない、すると いまじゅうぶんに持っていると感じる。
求めない、すると 自分にほんとは必要なものはなにが分ってくる。
求めない、すると 心が空に向かって開く。
・・・

欲張りではあっても、やせがまんも好きな私の中で、それらの心地良い詩が響き渡り、
何か、勇気が湧いてきました。
水の中で、身体が浮くことを初めて体験した時のような静かな自由な気持ちを思い出します。
与えられていることを忘れずに、今年もウォルドルフ人形やその他の手仕事に向かい合ってい
きたいと思います。みなさんに助けていただきながら。
本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

スウェーデンひつじの詩舎主宰 佐々木奈々子

スウェーデンひつじの詩舎からのお知らせ

- ☆ 昨年末のスペースペレのあたらしいふくのクリスマスセール中は、たくさんの方々にご来店
いただきました。スタッフ一同心から感謝しております。ありがとうございました。
- ☆ 2008年の営業は、電話でのご注文は1月7日(月)から、スペースペレのあたらしいふく
は1月10日(木)からとさせていただきます。
- ☆ 「心を育む人形たち」に掲載の作品材料キットのうち、フェルトの人形、ひつじの親子、季節
の妖精(春・夏)が、近日発売開始の予定です。
本年も手仕事の楽しさとぬくもりをできるだけ多くの方にお伝えしていきたいと願っています。
どうぞよろしくお祈りいたします。 スウェーデンひつじの詩舎スタッフ一同

編んでみました。キヒノビッツのリストウォーマー

一昨年に出版された「北欧ワンダーニット 不思議ですてきな10のテクニック」(林ことみ著・文化出版局)。タイトルのとおり、表編みと裏編みだけなのに、糸の渡し方、目の拾い方、減らし目の仕方など、ちょっとしたことで不思議ですてきな効果があらわれます。

リストウォーマーは、使ってみると、外出先などでちょっと寒いような時、調節をするのにとても便利です。首、手首、足首、“くび”とつくところは体温調節にとっても大切というのを実感します。

写真のキヒノビッツも、編み込みの模様が出来上がっていくのが楽しくて、始めるとなかなかやめられません。寒い季節の手仕事に、編み物はぴったりですね。このすてきな本を、編み物好きな方々にぜひ、お勧めしたいと思います。

佐藤治子



子ども達のワークショップ「ペレのこひつじ」の手仕事と季節のテーブル作りを担当しています。

こひつじでは、子供達はまずお話の部屋へ通され、そこには季節の花と季節のテーブルが置かれています。手仕事の後はそのまわりでおやつをいただきます。子供達はテーブルの人形をながめたり、時には手にとって見たりもします。

シュタイナー教育や絵本についての著作の多い、松井るり子さんの「うれしい気持ちの育て方」(ほるぷ出版)という本の中に、「自然と触れ合わせておしまいにならないで、見たもの聞いたものを味わう場所を心のなかに作っていくの



11月のテーブル 種のかぼ

がシュタイナー教育です。そのための数学でいう「補助線」にあたるものがカーテンや、ろうそくや季節のテーブルやおもちゃやお話や歌やオマリユトミーでしょう。」という一節がありました。

季節のテーブルを作るということは、心の補助線を作るということ、季節のイメージを味わう場所を心のなかに作るということ



12月のテーブル 天使のクリスマス

なのだと理解しました。

毎月のテーマは、その時に私の目についたもの、心に浮かんだイメージ、お話の一場面などです。主に羊毛を使って作りますが、小道具などはみつろう粘土を使うこともあります。イメージを形にしていくのは苦しくも楽しい作業です。(苦しいと言っています)

ペレのこひつじで飾ったあとは、スペース「ペレのあたらしいふく」にも置かせていただいています。お店にお立ち寄りの節はご覧いただければ幸いです。



1月のテーブル 雪あそび

池上洋子(横浜市旭区在住)

世界一有名なねずみといえば、ミッキーマウスでしょうか。雷ねずみのピカチュウも今や、なかなか有名でしょうか。そうそう、わたしが子どもだった頃は、乳歯が抜けると「丈夫な歯ととりかえてください。」とハリスねずみさんに手紙を書いて歯と一緒に封筒に入れて、枕の下に置いたものでした。すると、夜寝ている間にやってきて、どこかへ持って行ってくれました。我が家の子どものたちどころへも、歯が抜けるたびにハリスねずみさんが来ていました。

子年の今年、ねずみのように軽やかに、かいかいしく、くるくると、動きまわられたらいいな〜と、無理と知りつつ願って試している年の初めです。今年もたくさん手仕事を楽しみましょうね!

佐藤治子

編集担当: 佐藤治子
スウェーデンひつじの詩舎のホームページ
<http://www.s-hitsuji.co.jp/>

♥ スウェーデンひつじの詩舎 ♥
スペース ペレのあたらしいふく
〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2
TEL.FAX 045-881-6900,6665
佐々木のアトリエ TEL.FAX 045-811-6708
相談窓口火・金 担当: 寺田裕子045-881-7035